

「風邪かな？」と思ったら、
早めにかかりつけの
病院・医院で診察を受けて、
先生に相談しましょう。

病院・診療所名

お子様のいるご家庭へ
アデノウイルスって
なあに？



株式会社 タウンズ

監修：横山小児科医院 院長 横山 隆人 先生

01

アデノウイルス とは??

アデノウイルスは、呼吸器、消化器、目などに様々な症状を引き起こす「かぜ様疾患」の原因ウイルスです。人から人へ感染し、一年を通して発生し、保育園や幼稚園では、しばしば小流行を繰り返します。乳幼児がもっとも罹りやすく、小学生も時に罹患します。このウイルスには多数の型があり、2回、3回と繰り返し罹ることもあります。このウイルスに罹っている子や回復期の子と遊んで感染することが多く、感染した場合1週間ぐらいで発症すると考えられます。



02

アデノウイルスが 起こす病気は?

アデノウイルスに感染すると、呼吸器（扁桃炎・咽頭結膜熱・アデノウイルス肺炎）、目（流行性角結膜熱・急性濾胞性結膜炎）、消化器（乳児急性胃腸炎）泌尿器（急性出血性膀胱炎）などに様々な症状を引き起こします。その中でも、乳幼児に多く見られるのは扁桃炎と咽頭結膜熱です。

●扁桃炎（へんとうえん）

急に高熱がでて、5～6日続きます。高熱の割に、多くの子供たちは比較的元気です。しばしば、扁桃に黄色あるいは白色の膿が付着します。鼻閉やいびきはありますが、咳はほとんどありません。

●咽頭結膜熱（いんとうけつまくねつ） 通称：プール熱とも言います

扁桃炎の一部の小児で、眼が充血する結膜炎を合併します。これを咽頭結膜熱と呼びます。結膜炎以外の症状は扁桃炎と同様です。現在、プールで感染することはほとんどなく、夏季に多いわけではありません。アデノウイルス感染症は、39～40℃の高熱が1週間近く続くこともあります。ほとんどの場合、特別な治療は無く、自然治癒する病気ですが、解熱するまで医師に診てもらいましょう。

●流行性角結膜炎（りゅうこうせいかくけつまくえん） 通称：はやり目とも言います

1～2週間程度の潜伏期間を経て発症します。結膜が赤くなったり、まぶたの裏にブツブツができて、目やにや涙が増え、かゆみなどの症状が出ます。ひどくなると出血、まぶたのはれ、白目がぶよぶよしてくる、発熱などの症状が起きることもあります。咽頭結膜熱と同様、特別な治療は無く症状をやわらげるためや、混合感染を防ぐための目薬が処方されます。

03

アデノウイルスの 診断法

アデノウイルスによる扁桃炎や咽頭結膜熱は、綿棒で扁桃を拭って、迅速診断キットで短時間に検査することができます。

04

迅速診断キットの 有用性

この病気では、高熱が1週間近くも続きますが、全身状態は比較的良好です。また、特別な治療をしなくとも、ふつうは自然に治ります。

迅速診断キットを使ってアデノウイルスとわかれば、細菌による混合感染を疑う場合を除いて抗菌薬を飲む必要はありません。

また、通常は、入院の必要もありません。

迅速診断キットで検査をすると、病気の原因が分かるので、患者さんや保護者の方々の安心感につながります。



05 アデノウイルスの 治療

残念ながら、アデノウイルスに効く薬はありません。熱や炎症、脱水症状に対する対症療法しかないのですが、一部の重症例を除けば、5日くらいで熱が下がって自然に治ります。

06 保護者の皆様へ

- ◆アデノウイルスは、だ液、涙、鼻水、便などから感染します。とても感染力が強いウイルスです。患者とのタオルや食器の共用は避けてください。
- ◆患者と接した後は、手をよく洗ってうがいをしましょう。
- ◆十分に水分を与えてください。
- ◆完全に治るまで、保育園や学校は休ませてください。
- ◆兄弟との接触もできるだけ避けてください。

07 学校感染症

学校保健安全法では、学校において予防すべき感染症を定めています。「学校において予防すべき感染症」を学校感染症と言います。アデノウイルス感染症のうち、「咽頭結膜熱」と「流行性角結膜炎」は、学校感染症として出席停止の期間の基準が定められています。

1958年に制定された「学校保健法」は、2009年（平成21年）4月1日に「学校保健安全法」に改正され、これに伴って施行令や施行規則の名称も変更されました。

**咽頭
結膜熱**

（プール熱）

主要症状が消退した後2日を経過するまで出席停止とする。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めたときは、この限りではない。

**流行性
角結膜炎**

（はやり目）

症状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めるまで。

